



平成28年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年3月15日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社稲葉製作所

コード番号 3421 URL <http://www.inaba-ss.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 稲葉 明

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 武田 浩

四半期報告書提出予定日 平成28年3月16日

配当支払開始予定日

TEL 03-3759-5181

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

平成28年4月5日

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト及び機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年7月期第2四半期の連結業績(平成27年8月1日～平成28年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年7月期第2四半期	15,146	6.8	847	97.7	939	74.4	573	106.5
27年7月期第2四半期	14,187	1.9	428	△45.5	538	△40.8	277	△71.2

(注) 包括利益 28年7月期第2四半期 540百万円 (56.8%) 27年7月期第2四半期 345百万円 (△64.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年7月期第2四半期	32.68	—
27年7月期第2四半期	15.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年7月期第2四半期	50,312	36,840	73.2
27年7月期	49,740	36,510	73.4

(参考) 自己資本 28年7月期第2四半期 36,840百万円 27年7月期 36,510百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年7月期	—	10.00	—	12.00	22.00
28年7月期	—	12.00	—	—	—
28年7月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年7月期の連結業績予想(平成27年8月1日～平成28年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	31,250	5.1	1,600	16.3	1,800	13.5	1,100	15.7

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年7月期2Q	17,922,429 株	27年7月期	17,922,429 株
② 期末自己株式数	28年7月期2Q	361,705 株	27年7月期	361,705 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年7月期2Q	17,560,724 株	27年7月期2Q	17,560,763 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、政府の経済政策及び日銀の金融政策を背景に企業の収益改善や雇用環境の持ち直し等が見られ、緩やかな回復基調で推移いたしました。中国経済の減速や資源価格の下落等が企業業績に影を落とし始めており、景気の先行きについては不透明な状況にありました。

このような経営環境のもと、当社グループは、代理店とのリレーション強化を軸に、鋼製物置・オフィス家具分野における販売拡大に努めました。また、資源価格及び原油価格の下落に伴う材料コストや電力・燃料コストが減少し、製造原価率の低減等が図られたこともあり、業績は好調に推移いたしました。

この結果、売上高は、15,146百万円(前年同期比6.8%増)、営業利益は847百万円(前年同期比97.7%増)、経常利益は939百万円(前年同期比74.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は573百万円(前年同期比106.5%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

セグメントの名称	売上高(百万円)			セグメント利益(百万円)		
	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減
鋼製物置	9,403	9,706	302	1,011	1,300	288
オフィス家具	4,783	5,439	655	△111	33	145
合計	14,187	15,146	958	900	1,334	434

(鋼製物置)

鋼製物置の需要動向に影響を与える戸建新設住宅着工の動向は、一昨年4月の消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動の影響から持ち直しております。また、雇用・所得環境が底堅さを維持していること等を背景に、ガレージ及び倉庫の大型製品の売上が増加したことにより、鋼製物置の売上は伸長いたしました。

業績につきましては、売上高は9,706百万円(前年同期比3.2%増)、セグメント利益は1,300百万円(前年同期比28.5%増)となりました。

(オフィス家具)

オフィス家具につきましては、企業業績の好調を背景にオフィスの移転需要やリニューアル需要が拡大し受注が好調に推移いたしましたことから、オフィス家具の売上は伸長いたしました。

業績につきましては、売上高は5,439百万円(前年同期比13.7%増)、セグメント利益は33百万円(前年同期は111百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、現金及び預金が5,526百万円減少しましたが、有価証券が4,199百万円、建物及び構築物が2,601百万円増加したこと等により572百万円増加して、50,312百万円となりました。負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、支払手形及び買掛金が125百万円増加したこと等により242百万円増加して、13,472百万円となりました。また、純資産は、前連結会計年度末に比べ、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が363百万円増加したこと等により330百万円増加して、36,840百万円となりました。その結果、自己資本比率は73.2%となりました。

<キャッシュ・フローの状況>

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益898百万円等による増加と、売上債権の増加額372百万円、法人税等の支払額313百万円等による減少の結果、453百万円の増加（前年同期は852百万円の減少）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の払戻による収入11,500百万円等による増加と、定期預金の預入による支出6,500百万円、有形固定資産の取得による支出1,442百万円等による減少の結果、3,431百万円の獲得（前年同期は542百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額210百万円等の支出の結果、211百万円の支出（前年同期は176百万円の支出）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月4日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,340,353	12,813,832
受取手形及び売掛金	7,569,336	7,941,846
有価証券	—	4,199,957
商品及び製品	1,822,772	1,898,115
仕掛品	214,832	216,827
原材料及び貯蔵品	256,428	261,185
その他	463,160	490,656
貸倒引当金	△2,694	△3,004
流動資産合計	28,664,188	27,819,417
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,605,806	6,207,773
土地	11,210,580	11,210,580
その他（純額）	3,763,022	2,490,404
有形固定資産合計	18,579,408	19,908,758
無形固定資産	133,588	141,981
投資その他の資産		
その他	2,363,348	2,443,093
貸倒引当金	△411	△302
投資その他の資産合計	2,362,937	2,442,791
固定資産合計	21,075,934	22,493,531
資産合計	49,740,122	50,312,948
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,308,292	7,433,695
未払法人税等	330,262	371,068
賞与引当金	276,605	274,031
その他	3,065,366	3,134,932
流動負債合計	10,980,527	11,213,728
固定負債		
役員退職慰労引当金	447,520	406,139
退職給付に係る負債	991,825	1,024,381
その他	810,199	828,421
固定負債合計	2,249,544	2,258,941
負債合計	13,230,071	13,472,670
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,132,048	1,132,048
資本剰余金	987,847	987,847
利益剰余金	34,688,546	35,051,762
自己株式	△310,161	△310,161
株主資本合計	36,498,281	36,861,497
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	176,869	133,493
退職給付に係る調整累計額	△165,100	△154,712
その他の包括利益累計額合計	11,769	△21,218
純資産合計	36,510,050	36,840,278
負債純資産合計	49,740,122	50,312,948

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年8月1日 至平成27年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年8月1日 至平成28年1月31日)
売上高	14,187,428	15,146,235
売上原価	10,546,890	10,920,442
売上総利益	3,640,537	4,225,792
販売費及び一般管理費	3,211,974	3,378,541
営業利益	428,563	847,251
営業外収益		
受取利息	10,242	7,789
受取配当金	2,454	3,419
作業くず売却益	52,795	25,027
電力販売収益	51,441	48,615
雑収入	27,135	37,856
営業外収益合計	144,068	122,708
営業外費用		
支払利息	453	419
電力販売費用	32,657	28,935
雑損失	821	1,090
営業外費用合計	33,932	30,445
経常利益	538,699	939,514
特別利益		
固定資産売却益	87	129
特別利益合計	87	129
特別損失		
減損損失	91,529	41,138
その他	1,842	387
特別損失合計	93,372	41,525
税金等調整前四半期純利益	445,415	898,118
法人税、住民税及び事業税	123,870	345,600
法人税等調整額	43,584	△21,425
法人税等合計	167,454	324,174
四半期純利益	277,961	573,944
親会社株主に帰属する四半期純利益	277,961	573,944

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年8月1日 至平成27年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年8月1日 至平成28年1月31日)
四半期純利益	277,961	573,944
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	54,866	△43,375
退職給付に係る調整額	12,198	10,388
その他の包括利益合計	67,065	△32,987
四半期包括利益	345,026	540,956
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	345,026	540,956

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年8月1日 至平成27年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年8月1日 至平成28年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	445,415	898,118
減価償却費	301,029	418,386
減損損失	91,529	41,138
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,888	200
賞与引当金の増減額(△は減少)	△66	△2,573
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△91,797	48,037
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	11,110	△41,381
受取利息及び受取配当金	△12,696	△11,209
売上債権の増減額(△は増加)	△4,231	△372,401
たな卸資産の増減額(△は増加)	△322,483	△82,096
仕入債務の増減額(△は減少)	△193,056	125,403
その他	△321,856	△266,892
小計	△98,993	754,731
利息及び配当金の受取額	12,407	12,171
法人税等の支払額	△765,261	△313,303
その他	△453	△419
営業活動によるキャッシュ・フロー	△852,301	453,179
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△11,000,000	△6,500,000
定期預金の払戻による収入	11,000,000	11,500,000
有形固定資産の取得による支出	△370,449	△1,442,528
投資有価証券の取得による支出	△201,738	△100,295
投資有価証券の償還による収入	100,000	—
保険積立金の積立による支出	△58,820	△34,146
その他	△11,102	8,257
投資活動によるキャッシュ・フロー	△542,110	3,431,287
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△175,399	△210,408
その他	△635	△621
財務活動によるキャッシュ・フロー	△176,034	△211,029
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,570,446	3,673,436
現金及び現金同等物の期首残高	9,043,702	6,840,353
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,473,255	10,513,790

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成26年8月1日 至 平成27年1月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鋼製物置	オフィス家具	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,403,438	4,783,990	14,187,428	—	14,187,428
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,403,438	4,783,990	14,187,428	—	14,187,428
セグメント利益又は損失(△)	1,011,890	△111,750	900,139	△471,576	428,563

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△471,576千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「オフィス家具」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において91,529千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成27年8月1日 至 平成28年1月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鋼製物置	オフィス家具	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,706,364	5,439,871	15,146,235	—	15,146,235
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,706,364	5,439,871	15,146,235	—	15,146,235
セグメント利益	1,300,766	33,797	1,334,563	△487,312	847,251

(注) 1. セグメント利益の調整△487,312千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「オフィス家具」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において41,138千円であります。